

令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：053.外国語教育学

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

<解答する設問と配点について>

(1) 設問はⅠからⅦまであります。

どの受験者も、ⅠとⅡ両方の設問に解答しなさい。次に、

a. 「外国語教育論」（ピーターソン、中森研究室）の受験者は、ⅢとⅣ両方の設問に解答しなさい。

b. 「言語教育研究開発論」（柳瀬、塚原、柿原、ダルスキー、金丸、笹尾、和泉研究室）の受験者は、ⅤからⅦの3問のうちから2問を選択して解答しなさい。

(2) 配点は、どの設問も75点ずつ、計300点満点です。

<解答言語について>

設問は英語と日本語で出題されていますが、以下に留意してください。

(1) a. 「外国語教育論」の受験者は、ⅠからⅣ全ての設問に英語で解答しなさい。

(2) b. 「言語教育研究開発論」を志望し、英語教育学を専攻する受験者は、全ての設問に英語で解答しなさい。
それ以外の受験者は、日本語か英語のいずれかで解答しなさい。

<解答の仕方について>

(1) 論述に必要な用語は、明示的に定義して使いなさい。

(2) 論述に必要な理由と例は、具体的に示しなさい。

(3) 論述に必要な観点や限定条件などは、個々の設問で指定がない限り、自分で設定しなさい。

(4) 各問題をどのように限定するか広げるか、すなわち何を重要としているかも評価の対象にします。
定義の仕方や論証の仕方も評価の対象にします。

(5) 是か非か、あるいは必要か否かを論じる設問では、どちらの立場をとるかは評価の対象にしません。

(6) 解答は、設問ごとに別々の解答用紙を使い、設問ごとに表と裏を合わせて2ページ以内で完結させなさい。

令和9年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：053.外国語教育学

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。

ただし、設問の中で解答用紙に関して別途指定がある場合は、それに従うこと。

<共通問題> 全ての受験者は、設問Ⅰと設問Ⅱに答えなさい。

設問Ⅰ

「外国語教育において、学習者に与えるフィードバックは、多ければ多いほど望ましい」という言説について、具体的な理由とともに、あなたの考えを述べなさい。

設問Ⅱ

Compare and contrast traditional literacy with AI literacy for foreign language learners and explain how they intersect.

<選択問題>

a. 「外国語教育論」の受験者は、設問Ⅲと設問Ⅳに答えなさい。

設問Ⅲ

外国語を学習指導するに当たり、技能別とするか、文法項目別とするか、あるいは総合的に言語機能を扱うかについて、それぞれの利点と欠点を論じながら、あなたの考えを詳述しなさい。

設問Ⅳ

Describe some technology-based approaches to task-based learning in the language classroom.

b. 「言語教育研究開発論」の受験者は、設問Ⅴから設問Ⅶのうち、2問を選択して答えなさい。

設問Ⅴ

言語教師認知 (language teacher cognition) と教室での教育実践がどのように関係しうるかを詳述しなさい。

設問Ⅵ

言語学的にはあらゆる言語変種が対等であるにもかかわらず、「正しい言葉」「乱れた言葉」という評価が社会に存在している理由について、あなたの考えを詳述しなさい。

設問Ⅶ

Discuss the similarities and differences between the concepts of learner engagement and motivation in language learning.